



新規就農先輩の軌跡 No.80

新規就農者の素顔	農業経営の状況（現在）
 <p>氏名：上谷 和良 （かみたに かずよし） 住所：西宮市山口町 年齢：43歳</p>	<p>農地：115a 施設：ビニールハウス 10a 経営内容：施設野菜：25a （トマト10a、きゅうり5a、葉物野菜10a） ：露地野菜：40a （なす、きゃべつ、はくさい、ブロッコリー、だいこん、葉ねぎ、こかぶ等） ：水稲：90a</p> <p>労働力：本人、妻、母、パート1人 出荷先：JA直売所、市場、自宅販売、学校給食</p>  <p style="text-align: center;">トマトハウスにて</p>
<p>就農から現在まで</p>	<p>就農で良かった点、苦労した点</p>
<p>平成24年4月 就農スタートアップ支援事業に応募し、三田市香下で1年間研修を積む</p> <p>平成25年4月 就農</p> <p>平成25年6月 エコファーマー取得</p> <p>平成25年6月 2連棟ハウスを建設</p> <p>平成26年2月 大雪でハウス倒壊。施設園芸共済と農業改良資金を活用し、3連棟のハウスを再建</p> <p>平成28年3月 ひょうご推奨ブランドを取得</p>	<p>○良かった点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顔が見える消費者からの声が励みになっている。 ・研修終了後も親方農家には何かと相談でき、売場等も確保してもらっている。 <p>○苦労した点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市場への信頼を得るため、周年出荷を目標に作業を行っているが、計画通りに出荷することが難しい。
<p>農業をめざした動機</p>	<p>後輩へ贈る言葉</p>
<p>・兼業農家子弟であり、会社員勤めをしながら休日に水稲栽培を手伝っていたが、平成22年の相続をきっかけに、野菜専業農家になることを決意。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生産と販売のバランスが大切で、そのための目標設定と計画作りが重要。 ・農業は1人ではできないので、相談できる親方農家、仲間を作っていくこと。 ・困難なことは多いが、自分の信念を持って貫くこと。